

各委員会の委員構成

委員 (◎委員長 ○副委員長)				
総務常任委員会				
◎石川 寿美	○中村聡一郎	原 桂	高野 洋一	
高橋 浩司	伊東 正博			
文教常任委員会				
◎納所 輝次	○渡邊 隆	松中 健治	前川 綾子	
小田嶋敏浩	森川 千鶴			
観光厚生常任委員会				
◎吉岡 和江	○藤田 紀子	千 一	久坂くにえ	
萩原 栄枝	野村 修平	岡田 和則		
建設常任委員会				
◎本田 達也	○山田 直人	早稲田夕季	大石 和久	
三輪裕美子	助川 邦男	赤松 正博		
議会運営委員会				
◎助川 邦男	○萩原 栄枝	石川 寿美	渡邊 隆	
山田 直人	前川 綾子	高野 洋一	岡田 和則	
藤田 紀子	吉岡			
議会広報委員会				
◎高野 洋一	○前川 綾子	早稲田夕季	久坂くにえ	
納所 輝次	石川 寿美			
観光ナビシステム整備事業調査特別委員会				
◎小田嶋敏浩	○石川 寿美	早稲田夕季	久坂くにえ	
納所 輝次	前川 綾子	三輪裕美子	高野 洋一	
助川 邦男	藤田 紀子			
岡本二丁目マンション計画調査特別委員会				
◎中村聡一郎	○萩原 栄枝	山田 直人	大石 和久	
三輪裕美子	小田嶋敏浩	岡田 和則	伊東 正博	
助川 邦男	赤松 正博			

議会新役員決定

五月二十七日に役員選考委員会（選考委員長に助川邦男議員）を設置し、協議・調整した結果、議長については留任、副議長については選挙を行うこととしました。

六月定例会初日である十一日の本会議冒頭において、副議長の選挙を行った結果、野村修平議員が選出されました。

【副議長選挙の結果】
野村修平議員 二十六票



松中健治 議長



野村修平副議長



森川千鶴監査委員

市議会議員当選八回
議長、総務常任委員長を歴任
（無所属）
材木座 六十六歳

市議会議員当選三回
監査委員、議会運営委員長、
文教常任委員長などを歴任
（鎌倉同志会）
腰越 六十五歳

市議会議員当選二回
観光厚生常任委員長を歴任
（神奈川県ネットワーク運動・
鎌倉）
七里ガ浜 五十六歳

議決された主な議案

今定例会に、市長から、条例の一部を改正するための議案など六件の議案が提出され、議会は各議案を可決しました。

主な議案の内容は次のとおりです。

◎鎌倉市子どもの家条例の一部改正

第一小学校の通学区域内に新設する子どもの家の名称を鎌倉市だいち子どもの家「うみがめ」位置を鎌倉市由比ガ浜二丁目七番二十一号、定員を四十五人と定めるとともに、鎌倉市はせ子どもの家「ぺんぎん」を廃止しようとするものになります。

農業委員会委員

議会議決の農業委員会委員として、次の議員を推薦することについて、総員の賛成により同意しました。

三輪裕美子議員（笹田在住）
助川邦男議員（鎌倉山在住）
吉岡和江議員（梶原在住）

補正予算を可決

◆一般会計補正予算
内容は、歳入歳出いずれも二億七千七百八十万円を追加するもので、補正後の総額は、五百六十一億六千八十万円となります。なお、このほかに債務負担行為の設定及び地方債の補正も行なうものです。

特別委員会の動き

自治基本問題調査特別委員会

調査研究を終了

地方分権が着実に進む中、議会では、市民自治の基本となるルールづくりに向けて、市民自治のあり方、議会の役割・機能など、自治基本問題に関する調査研究を行うため、平成十八年六月二十二日に自治基本問題調査特別委員会（以下「特別委員会」という。委員長「山田直人議員」）を設置し、本年五月二十六日まで二十九回に及ぶ議論や調査研究を行ってきました。

その結果、議会としての一定の考え方や方向性を「自治基本問題調査研究報告書」（※市議会ホームページでご覧いただけます。）としてまとめ、去る六月十三日の本会議において、特別委員長報告を行い、全会一致により承認されたことをもって、特別委員会における調査研究が終了しました。

特別委員会では、調査研究の前提である議会・行政・市民の三者の関係について、自治の主体は市民であるとした上で、自治体における議会及び行政は市民の信託により成立するものである以上、議会と行政及び市民の関係を明確化することが自治体に課せられた命題であるとし、お任せ

観光ナビシステム整備事業調査特別委員会

岡本二丁目マンション計画調査特別委員会

平成十八年十一月に設置された観光ナビゲーションシステム整備事業に伴う事実関係の調査に関する調査特別委員会では、本市が平成十五年度に国の交付金を活用した事業実施における事実関係を解明するため、調査を行っています。

これまで、担当部職員への質疑、事業者からの意見聴取など調査を進めていますが、さらに関係人から記録の提出を求める必要があるため、六月十三日開会の本会議において、地方自治法第百条の調査権を当委員会に委任することを議決しました。今後は関係人に記録の提出を求め、当時の関係人への参考人質疑を進めていく予定です。

現在、岡本二丁目マンション計画にかかわる開発相談、市道路線の編入同意の経緯や許可処分に至った経過などの市の対応について、参考人として、当時から関わった職員等に対して当時の状況を聴取しています。

編集後記

自治基本問題調査特別委員会での二年に及ぶ議論の結果、調査研究報告がまとめられました。市民・行政・議会の責務と役割を検証し、自治基本条例制定への第一歩となったことに期待がふくらみます。

「市民にわかりやすい議会」を目指し、広報・広聴活動の重要性がさらに高まっています。「かまくら議会だより」は広報活動の柱ですが、昨年九月より本会議のインターネット中継もその一翼となりました。六月定例会の生中継では千件以上

(Y・W)

議会広報委員会

委員長 高野 洋一
副委員長 前川 綾子
委員 早稲田夕季
委員 久坂くにえ
委員 納所 輝次
委員 石川 寿美



報告書を議長に提出

市民については、これまでの役所任せの自治から参加型の自治へと、地方自治の姿が大きく変化する中で、改めて市民の権利・責務について議論するとともに、これからの市民自治の担い手として地域コミュニティについても議論しました。